

自然環境保全活動

日本の財産、美しい自然を次の世代に引き継ぐために活動している、環境ボランティア団体を応援しています。また、セブン-イレブンみどりの基金の設立より取り組んでいる富士山地域の環境問題や、自然遺産である巨樹・巨木、日光杉並木の保護活動も継続して行っています。

市民ボランティア活動支援

さくべ会(佐賀県)

草刈り機やリヤカーなどの助成を行い、玄海国立公園七つ釜園地周辺の美化清掃活動を支援しました。



NPO法人 須川の自然を考える会(岩手県)
水害や手入れ不足から荒廃している森林を保全するために、将来の市民参加を視野に入れた水源の森林保全活動を支援しました。



あしやすファンクラブ(山梨県)

南アルプス国立公園において、専門家を招いての登山教室の開催、荒れた焼山林道旧登山道での間伐や案内標識を整備する活動を支援しました。



22世紀の森づくり・神代(東京都)

都市の緑の創造と保全を図るために都民ボランティア・企業・行政が協力して行う、神代植物公園での植樹・育成管理など、22世紀までの森づくり活動を支援しました。



筑前新宮に白砂青松を取り戻す会(福岡県)

筑前八松原のひとつ「樞の松原」。美しい松原を次世代に伝え、新たなコミュニティ構築を目指すこの団体を支援しました。



NPO法人 日本森林ボランティア協会(大阪府)

毎月一回森林整備を行い、間伐材の有効利用として、地元小学校の施設修理やキャンプ場整備を行うことにより、農山村の再生を図る活動を支援しました。

富士山地域の環境問題への取り組み・活動支援

セブン-イレブンみどりの基金は、富士山地域の環境問題に継続して取り組んでいます。なかでも総合的に活動している「NPO法人富士山クラブ」をパートナーにさまざまな環境活動を実施しています。



NPO法人 富士山クラブ(富士山地域)
富士山のし尿問題解決のための試みとして、富士山頂に杉チップを利用して微生物がし尿を炭酸ガスと水に分解するバイオトイレを設置しました。

富士山クリーン大作戦(富士山地域)
セブン-イレブン社員のボランティア体験活動として、今年で5回目となる「富士山クリーン大作戦」がセブン-イレブン社員約100名が参加して、青木が原樹海の県道沿いで実施されました。



清水将之(個人)
富士登山者の登山行動を、飲料水容器に焦点をあてて調査する活動を支援しました。



西田継・松本嘉孝(個人)
富士北麓天然林における酸性降下物や炭素移動量の影響についての調査活動を支援しました。

日光杉並木保護活動

周辺環境の悪化や、杉自身の老齢化により毎年100本が枯れ倒れている「日光杉並木」。特別史跡・特別天然記念物の二重指定を受けた「日光杉並木」を次の世代に残すべく、日光杉並木保護財団と連携して保護活動を行っています。



並木杉の樹勢回復事業(栃木県)

平成13年度は「木柵工法」により、総延長約1.5kmの日光杉並木街道の樹勢回復事業を行いました。

巨樹・巨木の保護活動

環境指標植物である巨樹・巨木を中心とした豊かな生態系を保護する活動や、自然との共生を考える教育の場にする活動を、林野庁や巨樹・巨木保護中央協議会、地元のボランティア団体と行っています。



上宝村巨樹・巨木保全協議会(岐阜県)

吉城郡上宝村にある平湯の大ネズコの巨木を保護するために、防護柵の設置費用を助成しました。